

夢の実現に向けて、たくましく生きる生徒の育成
～ 「生きる力」^{しゅうなん}を高める教育活動の深化、充実^{きくがわ}～
周南 市立菊川中学校

— 学 校 の 概 要 —

① 学校規模

- 学級数：7学級（内特別支援1学級）
- 生徒数：201人
- 教職員数：15人
- 活動の対象学年：2年生・67人

② 体験活動の観点などからみた学校環境

- 周南市の周辺部に位置し、校区の南にコンビナート、北に山村地域がある。学校は国道2号線から、3キロ北に入った農村地域にあるが、近年宅地化が進み、田畑が住宅地に変わりつつある。
- 校区内に幼稚園、保育園、通所介護事業所があり、地域内で3世代にまたがった活動・行事が行われている。地域行事には、小学生や中学生も参加している。
- 教育や文化への意識が高く、特に公民館活動を中心とした社会教育活動が盛んである。また、保護者の教育に対する関心が高い地域である。

③ 連絡先

- 〒745-0853
周南市大字上村685番地
- 電 話：0834-62-2805
- F A X：0834-62-2389
- 電子メール
kikugawachu@shunan.ed.jp

— 体 験 活 動 の 概 要 —

① 活動のねらい

- 人とのふれあいを深め、郷土愛や思いやりの心を育てる。
- 活動の中から課題や疑問を見つけ、解決する資質や能力を育てる。
- 介護や幼い命を育む職に携わる人とふれあう実習や、命の大切さを伝える人々の話を聞くことを通して、生命の尊厳や他者へのいたわりの心を育てる。

② 活動内容と教育課程上の位置付け

- 命を考える教育講演会（全学年）
（総合的な学習の時間2単位時間、道徳2単位時間）
- 被爆体験講演会（2年）
（道徳2単位時間）
- 広島平和学習・発表会（2年）
（総合的な学習の時間8単位時間）
- 自転車安全教室（全学年）
（特別活動1単位時間）
- 「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。」教室（全学年）（保健体育2単位時間）
- マナー講習会（全学年）
（総合的な学習の時間2単位時間）
- 職場体験学習・発表会（2年）
（総合的な学習の時間14単位時間）
- 人間関係づくりワークショップ（全学年、2年）（特別活動5単位時間）
- 芸術鑑賞会（2年）
（総合的な学習の時間4単位時間）
- ボランティア活動（全学年）
（総合的な学習の時間3単位時間）

1 活動に関する学校の全体計画

○ 活動のねらい

- ・ 平和学習や職場体験などの活動を通して、命の大切さや他者への思いやりの心を学ばせるとともに、将来に向けて主体的に生きる態度を育てる。
- ・ 活動の中から課題や疑問を見つけ、それを解決する能力を育てる。

- ・ ワークショップの活動を通して、他者への思いやりの心を育て、仲間と協力することの大切さを学ばせる。
- ・ 命の大切さや生きることについての話を聞き、生命の尊厳や他者へのいたわりの心を育てる。

○ 全体の指導計画

実施学年	活動の名称 ・実施する体験活動の概要	実施日時・期間 (単位時間数)	教育課程上の 位置付け	活動の場所 (指導者)
全 学 年	命を考える教育講演会 ギター弾き語り講演会 ・ 講師の講演を聞き、生きることの大切さについて考えさせる。	6月 8日 (2時間) 10月 22日 (2時間)	総合的な学習 の時間 道徳	菊川中学校 (有國智光) (あどRun太)
2年	被爆体験講演会 ・ 被爆者の方々の話を聞くことによつて、原爆や戦争の悲惨さ、平和の大切を知るとともに、命の大切さについて考えさせる。	5月 9日 (2時間)	道徳	菊川中学校 (周南市被爆者の会、濱田俊夫 稲垣方子)
2年	広島平和学習 ・ 原爆が投下された町を直に見学することで、戦争の悲惨さや平和の大切さを学ばせる。	5月 20日 (6時間)	総合的な学習 の時間	広島市
2年	広島平和学習発表会 ・ 平和学習の活動を再確認するとともに、発表を通して自らの課題や疑問を見つける。	6月 13日 (2時間)	総合的な学習 の時間	菊川中学校
全 学 年	マナー講習会 ・ あいさつ、言葉遣い等の重要性和基本を学び、実践しようとする態度を育てる。	11月 13日 (2時間)	総合的な学習 の時間	菊川中学校 (自動車販売会社 井上智一)
1年 2年	職場体験学習 ・ 職場体験をすることにより、働くことの厳しさを知るとともに、将来の自分の生き方について考える。	11月 18・19日 (12時間)	総合的な学習 の時間	各事業所
1年 2年	職場体験学習発表会 ・ 各職場ごとに活動のようすをまとめ、活動を振り返りながら課題を発見する。	11月 26日 (2時間)	総合的な学習 の時間	菊川中学校
全 学 年	薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室 ・ 薬剤師の話を聞き、薬物が体や社会に与える恐ろしさを学ぶ。	7月 10日 (2時間)	保健体育	菊川中学校 (薬剤師 丸山恵子)
全 学 年	自転車安全教室 ・ 自転車の安全な乗り方を学び、命を大切にす姿を育てる。	4月 9日 (1時間)	特別活動	菊川中学校 (県警及び 周南交通課)

全 学 年 ・ 2年	人間関係づくりワークショップ ・ ワークショップを通して、仲間と協力することの大切さや思いやりの心を育てる。	4月24日 (2時間) 1月28日 2月2日 (各クラス 2時間)	特別活動	菊川中学校 (玉川大学 准教授 難波克己) (山口県十種ヶ峰野 外センター指導主事 手島泰寛)
2年	ブラインドウォーク ・ ブラインドウォークを行うことによって、他者への思いやりの心を育てる。	10月7日 (1時間)	特別活動	菊川中学校
全 学 年	資源物回収活動 ・ 地域の清掃活動、リサイクル活動を通して、地域住民との積極的な交流を図り、地域に生きる一員としての自覚を促し、地域への感謝の心を育てる。	12月6日 (2時間)	総合的な学習 の時間	菊川中学校
全 学 年	ボランティア教育 ・ ネパールに文房具を送る活動の話聞き、ボランティア活動に関心をもたせる。	11月7日 (1時間)	特別活動	菊川中学校 (周陽小学校 小島富美子)
2年	芸術鑑賞会 ・ ヴァイオリン等の演奏を聞くことによって、豊かな心を育てる。	7月4日 9月26日 (4時間)	総合的な学習 の時間	市文化会館 菊川中学校

2 活動の実際

○ 事前指導

広島平和学習は、事前に、被爆体験された二人の方の話聞き、原爆についての調べ学習を行った後に実施した。一方、職場体験学習は、夏休みに教師が各事業所に体験学習の依頼をし、その後、生徒の希望調査結果で事業所を決定した。生徒たちは、「班長による事業所での事前打ち合わせ」「職種に関する調べ活動」などに取り組んだ。

○ 活動の展開



平和学習発表



職場体験学習



職場体験学習

○ 事後指導

活動で感じたことや身についたことをまとめ、指導者に感想とお礼の内容の手紙を書いた。また、平和学習も職場体験学習も、事後、ポスターセッションを行い、活動内容を再確認させたほか、文化祭では展示物を作成することで、命の重みを考えさせた。

3 体験活動の実施体制

○ 学校支援委員会の体制

菊川公民館長、菊川幼稚園長、菊川保育園長、菊川駐在所長、校長、教頭、教務主任、道徳主任、2年学年主任の9名で学校支援委員会を構成し、活動についての理解と支援をお願いした。

○ 配慮事項等

活動を実施するにあたっては、校外施設の責任者との打ち合わせを密にして、施設利用者への配慮事項等を確認するとともに、生徒の安全確保にも努めた。

4 体験活動の評価の工夫と指導の改善

○ 活動後に個人・班の自己評価を行い、体験学習の協力事業所等にもアンケートをお願いした。また、平和学習については、文化祭で展示物を作成することで、学習内容の深化、発展を図った。

○ 担当する教職員の数に対し、職場体験学習の事業所数が多かった。速やかに適切な指導や対応をするためには、体験活動の内容や種類を見直し、事業所や指導者との連絡をより密にしていくようにしたい。

5 活動の成果と課題

（被爆体験の話聞いた生徒の感想）

稲垣さん（被爆体験をされた方）の話で、昨日いたはずの妹、弟が原爆のせいで死んでしまったこと、死んだ妹に（火葬するための）火がつけられなかったお父さんのことが、一番心に残りました。昨日いたはず、昨日みた妹、弟が二人いっぺんに死んでしまったらどんなにつらいだろうと思いました。そこに一緒にいたのに、守ってやれなかったお父さんは、くやんでもくやみきれないぐらいだと思います。自分の娘を焼かなくてはいけないお父さんの気持ちが痛々しいほど伝わってきました。お父さんに必死でたのまれて火つけた稲垣さんもつらかっただろうと思いました。

被爆体験者の話は、具体的で生徒の心を打つ内容であった。その話を聞いた後に、広島での平和学習を行い、文化祭の展示物を完成したことで、生徒たちはより身近に、「命の重み」を感じることができた。また、職場体験でも、実際の職場の方の指導を受けながら活動することで、生きることや働くことの大切さ、厳しさを、直に感じることもできたと思われる。

生徒たちは、異年齢の方々とのかわりを通して、「命の重み」を感じることはできたが、日々の学校生活のなかでは、それを否定するような軽率な言動も見られる。今後は、体験活動の成果を、同年代の人間関係づくりに生かしていくことが課題である。